

わる気と感動

学校だより 25号

平成30年

3月13日(火)

= 卒業おめでとう! = 君たちの築いた歴史を忘れない!

第7回 卒業証書授与式 校長式辞より (一部省略)

68名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。本日をもって、三年間の中学校の課程を修了するとともに、九年間の義務教育を終了することになります。

三年前の春、少し大きめの制服に身を包み、緊張した面持ちで入学式を迎えた皆さんの姿が、つい昨日のこのように思い出されます。三年間の中学校生活では、悩んだり苦しんだこともあったでしょう。自分に自信が持てずいらしたり、悔し涙を流したこともあったでしょう。友人関係を築く難しさも感じたと思います。しかし皆さんは、自分たちの課題としっかり向き合い、自分たちで考え、自分たちの手で克服していこうと、本音で語り合い、前向きな姿勢で取り組んできました。その姿は、『気づき・考え・行動 そして感動』の南部中学校の実践理念そのものでした。

県大会・関東大会・全国大会へと駒を進め『南部中学校ここにあり』と示してくれた、各種大会やコンクール。峡南支部総体では、優勝旗を9本中7本も獲得し、陸上競技では共通男女ともに総合優勝を成し遂げました。野球部の県新人戦制覇、県吹奏楽コンクールでの6年ぶりの金賞受賞とともに、これからも長く語り継がれるでしょう。輝城祭・音楽発表会では鳥肌が立つほど素晴らしい合唱を聴かせてくれました。三年生を送る会で在校生に送った最後の応援と全力校歌は、後輩たちへの力強いメッセージとして心に響きました。今年度初めて披露した町体育祭でのソーラン節は、地域の方々に元気を送る機会となりました。

日常生活も含め数多くの場面で、『集団としての成長』を感じ取ることができました。

たくましく成長した皆さんの姿を見ていると、南部中学校の教育に携われたことを誇らしく感じます。南部中で培った自ら『気づき・考え・行動』する力、『感動』できる心と、生涯を通じて支え合える大切な仲間は、きっと今後の人生の大きな宝となり力となることでしょう。

昨年度から本校は、地域とともにある学校コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を設置しました。学校経営案の承認から学校関係者評価まで、一年間を通して、厳しく、温かい貴重なご意見や提案で、南部中学校をしっかりと支えていただきました。

また、この三年間で、福祉体験、職業ワイド相談、職場体験学習、各種集会や授業など、たくさんの地域の方々にご指導をいただき、温かく見守られ、支えられてここまで育ってきました。感謝の気持ちを決して忘れず、ふるさとの自然やふるさとの人々、ふるさとの思い出を、生涯大切にできる人になってください。

これから皆さんは、それぞれの路へと進んでいきます。親元を離れて生活する人もいます。様々な場面で自分で考え自分で決め、自分の力で行動して行くこと、その行動に責任を持つことが、今まで以上に求められます。どんな困難にもくじけず、立ち向かっていく『覚悟』、幸せな人生を歩んでいくために努力を惜しまない『覚悟』を持って、卒業して行ってください。

最上級生として、南部中学校を力強くリードし、新たな歴史を刻んだ皆さんの姿を、後輩達もしっかりと目に焼き付け、目指す目標として心に刻んだと思います。みんなで築いてきた、「あいさつ」「合唱」「全力応援」「脚下照顧」「無言清掃」を受け継ぎ、さらに発展させ、今年以上の南部中を創ろうと決意を固めていると思います。

結びになりましたが保護者の皆様、本日はお子様のご卒業おめでとうございます。あらゆる場面で親の手助けを必要とした子ども達が、義務教育の九年間で、ここまで成長しました。その成長過程を間近でご覧になり、共に歩んでこられたご家族の皆さんにとって、本日の感慨もひとしおかと思えます。心からお祝い申し上げます。卒業生の皆さんの、これからの成長と活躍を祈念し、式辞といたします。

平成20年3月13日 南部中学校長 石川君男